

器や近年注目されているIT技術に興味があり、本学では電気電子、情報工学を専攻しました。リニアステッピングモータを用いた磁気浮上搬送システムに関する研究に取り組み、実験装置、回路の設計からプログラミングコードの作成までの一連のプロセスを通して、ハード、ソフト両分野の知識の習得に励みました。また、学会や研究会など対外的な発表を経験することができ、他大学の先生方や企業の方との議論を通して自身の見識を深めることができました。特に、2019年にスイスで開催された国際学会では海外の研究者と意見を共有することができ、貴重な経験となりました。一方で、英語での受け答えに苦戦し、自身の語学力のなさを痛感しました。私を含め多くの学生は、受験勉強を通して英語の「読む・聞く」能力は習得してきましたが、「話す・書く」能力が欠如していると感じます。そのため、なるべく早い段階でコミュニケーションに特化した英語学習の機会を持つことが重要であると考えます。本学では、英語でプレゼン発表を行う講義や学科独自の留学プログラムなど、グローバル化に向けた取り組みが盛んに行われています。コロナ禍で現地に行けない状況ではありますが、大学が提供しているツールを活用し国際経験を積むことは有効な手段

の一つであると考えます。

本学では、学生が主体となって日々の授業運営を支援するSA(スチューデントアシスタント)、実験・実習等を支援するTAといった制度があります。私は、学部生の電気実験を補助するTAとして大学院の2年間活動し、指導者としての経験を積めたことや、教員の方々と対等な立場で意見を共有する貴重な経験を積むことができました。後輩の皆さんにはぜひ、SAやTA等の教育活動に積極的に関わり、自身のキャリア形成の場として活用するとともに、より良い授業を築き上げるための一翼を担ってほしいと思います。

昨年度は、新型コロナウイルスの影響によりオンライン形式での就職活動、ゼミナールなど、通常とは異なる形式に順応することに苦戦しつつも、無事に修了を迎えることができました。これもひとえに、ご指導、ご支援していただいた先生方、事務的な面で支えて下さった職員の皆様、支え合い励まし合ってきた友人たち、そして温かく見守り支え続けてくれた家族のおかげです。本学で培った知識や技術、精神を元に、変化を恐れず常に挑戦し、社会に貢献できるよう精進して参ります。

博修士会からのお願い

郵便振替 00900-2-68733 関西大学博修士会

特別協力金のご協力をいただきました会員の皆様にお礼申し上げます。会の財政が逼迫しておりますので、本年度も引き続きご協力をお願いいたします。1口1,000円、できれば2口以上お願いいたします。また、終身会費15,000円を未納の方は、納入をお願いいたします。

特別協力金納入者名簿 (五十音順、敬称略) (2020年4月1日~2021年3月31日)

天 井 一 夫	網 本 浩 幸	岡 本 哲 和	緒 方 正 則	小 幡 齊
川 西 進	北 川 勝 彦	北 嶋 弘 一	北 村 英 子	桑 田 順 市
後 藤 安 子	小 西 大 輔	竿 田 嗣 夫	笹 倉 淳 史	早 苗 良 雄
篠 塚 義 弘	澁 谷 大 輔	神 保 敏 明	田 中 義 信	椿 信 二
富 田 好 久	中 橋 久 史	中 原 住 雄	西 座 新 二	羽 間 弘
羽 生 和 子	濱 谷 美 綺	東 村 高 良	飛 田 篤	平 野 裕
藤 井 昭 三	前 田 裕	松 本 始	真 部 和 義	水 野 一 郎
明 神 信 夫	村 中 徳 明	森 下 明	山 本 秀 樹	山 本 善 章
吉 松 儀 久	横 田 伸 敬	横 山 清 美		